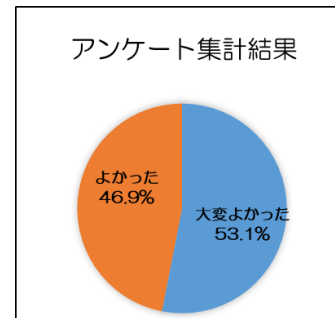


令和4年度 保幼小連携講座 保育所の保育について学ぼう

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児期において育みたい資質・能力（3つの柱）及び「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿（10の姿）」を保幼小職員で共有し、育ちと学びの連続性について考え合う</li> <li>・ 保育所の保育を参観し、保育所の保育について学ぶ</li> <li>・ 乳幼児期から学童期への子どもの発達の過程を具体的な姿を通して知る</li> <li>・ 保育所の保育について理解し合い、保幼小連携について考え合う</li> </ul>
日時・場所	令和4年8月23日（火）15：00～16：30 オンライン開催 担当園：進徳保育園
対象	乳幼児教育・保育施設職員、小学校教職員
内容	1. 公開保育（5歳児）＊動画をとおして 2. 協議 3. まとめ
まとめ	幼児教育センター 所長 立石徳子

参加者（合計 91 名）			
保育所	幼稚園	認定こども園	小学校
38	3	36	14



【感想】

- ・グループ協議をさせていただき、様々な先生方との意見を聞かせて頂いたことで、自分の園と同じ取り組みをしている園もあれば、また違う活動により就学に向けて取り組まれている園など知ることが出来、今後の保育にいかしていきたいと感じました。
- ・小学校の先生も一緒にグループ協議が出来たので、小学校の思いや、園での取り組みなどを共有することが出来、今後の小学校への連続性をたくさん保育で取り入れていこうと思いました。
- ・接続期の学びについて連続性を意図して一年生の指導を行うことが大切だと思った。子どもに安心感を持たせるためにどのような指導がたいせつなのか考えさせられた。入学して不安が大きい子どもへ安心感を与えるには、どうするかを接続カリキュラムに生かさないといけない。

